

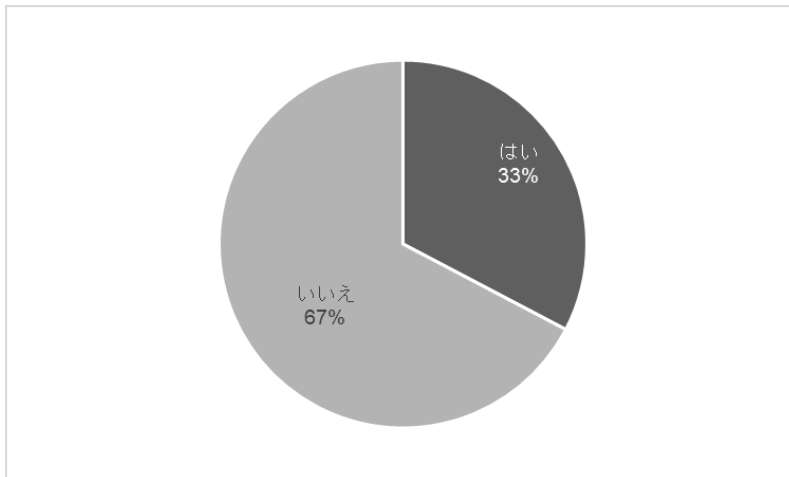
## 第2回フードバンク「きずなセット」食品配布利用者アンケート報告書

### I. 実施概要

- 目的：食品配布利用者の実態を明らかにする。
- 対象：宇都宮大学在学学生を含む18歳以上の学生（大学院生、大学生、専門学校生、短大生、語学学校生）の事前配布希望者
- 期間：6月24日～7月4日
- 方法：Googleフォーム
- 有効回答数：104（回答者数105）
- 実施主体：NPO フードバンクうつのみや
- 分析協力：宇都宮大学地域創生推進機構地域デザインセンター

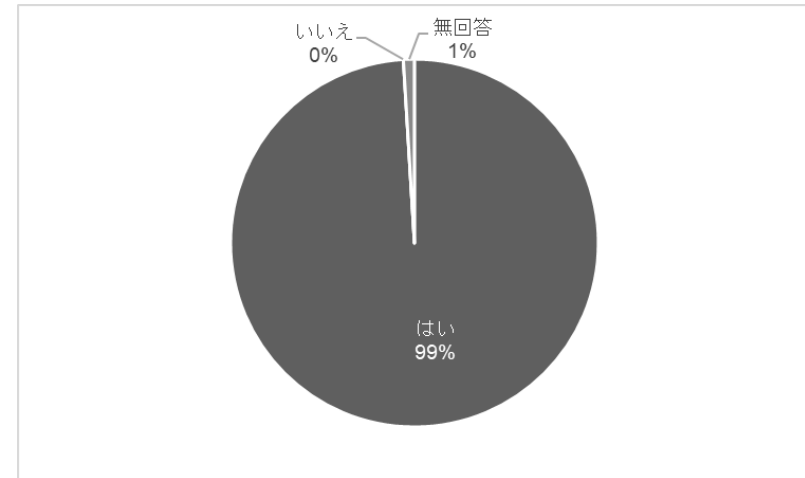
### II. 単純集計結果

1. 第1回学生応援きずなセット配布会を利用しましたか。(単数回答, N=104)

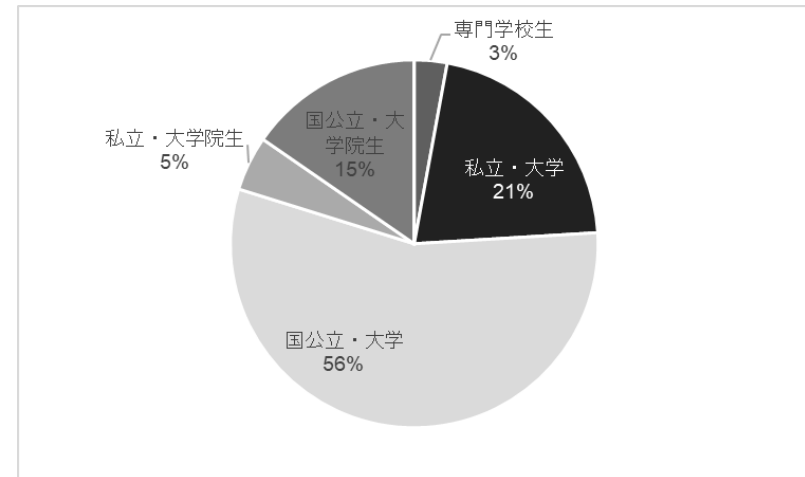


2. 今後も今回のような学生応援食品セットの配布があれば利用しますか？

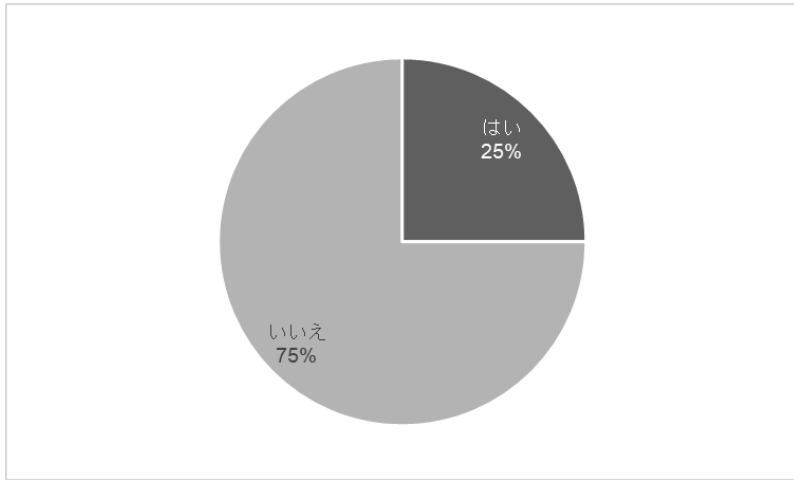
(単数回答, N=104)



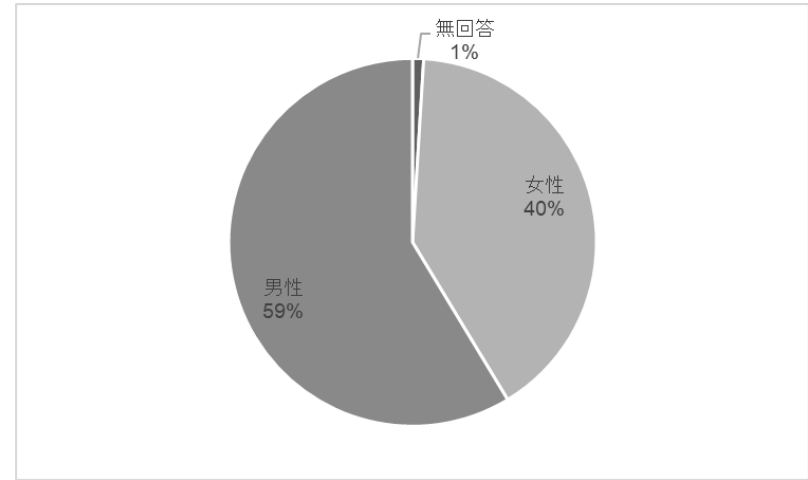
3. 所属を教えてください。(単数回答, N=104)



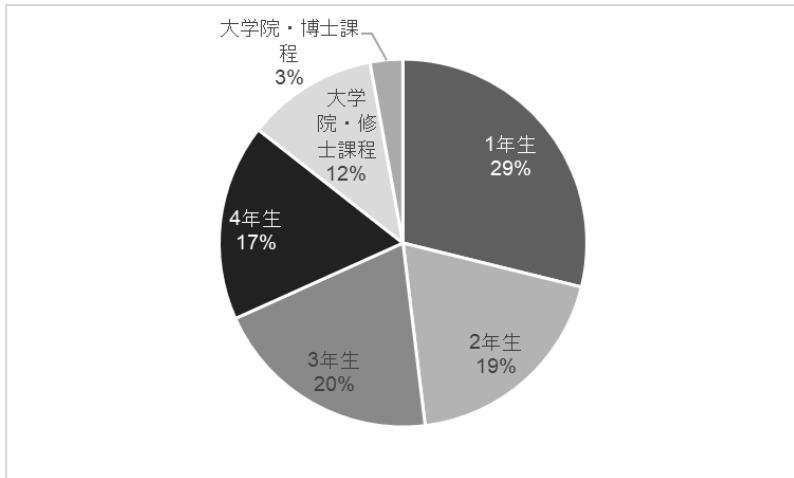
4. あなたは留学生ですか。(単数回答, N=104)



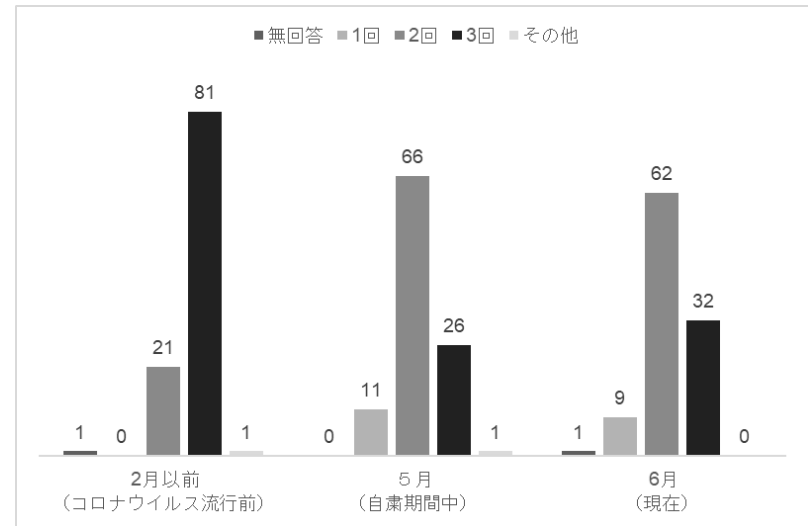
6. 性別を教えてください。(単数回答, N=104)



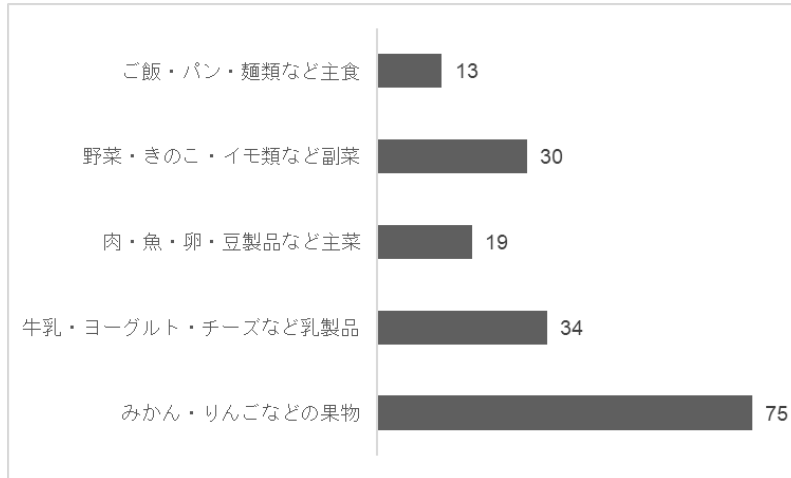
5. 学年を教えてください。(単数回答, N=104)



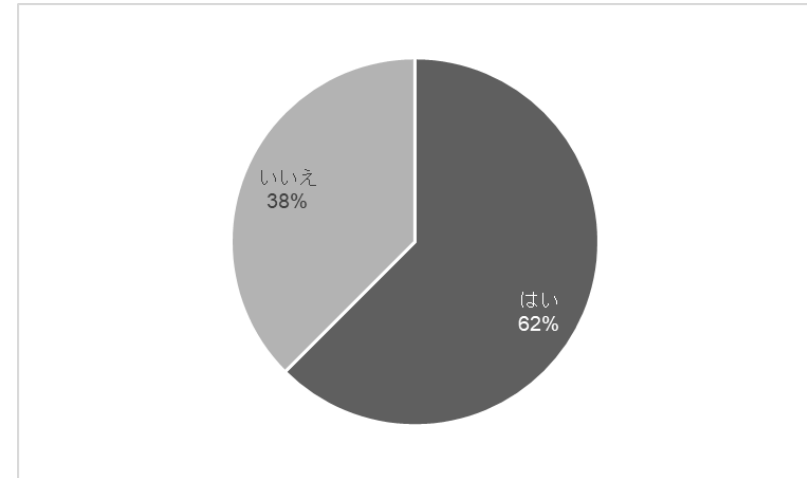
7. 1日当たりの食事の回数(平均)を教えてください。(単数回答, N=104)



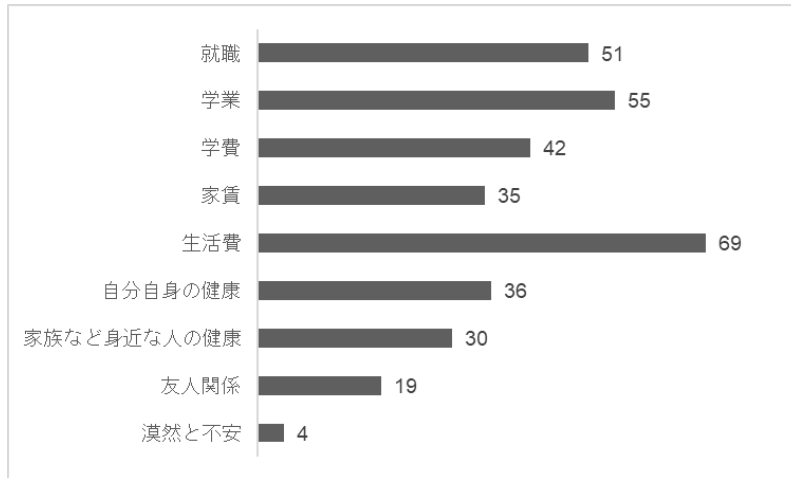
8. 今日までの過去 1 週間のうち、3 日以上食べられていないものを選んでください。(複数回答, N=104)



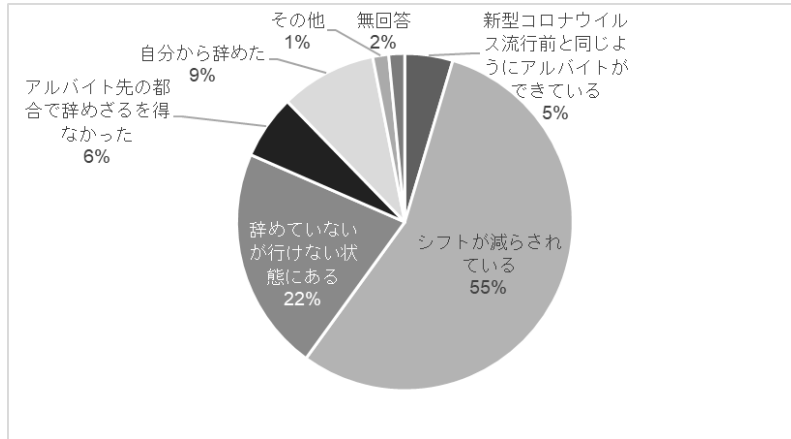
10. 新型コロナウイルス流行前 (2 月以前)、アルバイトをしていましたか。(単数回答, N=104)



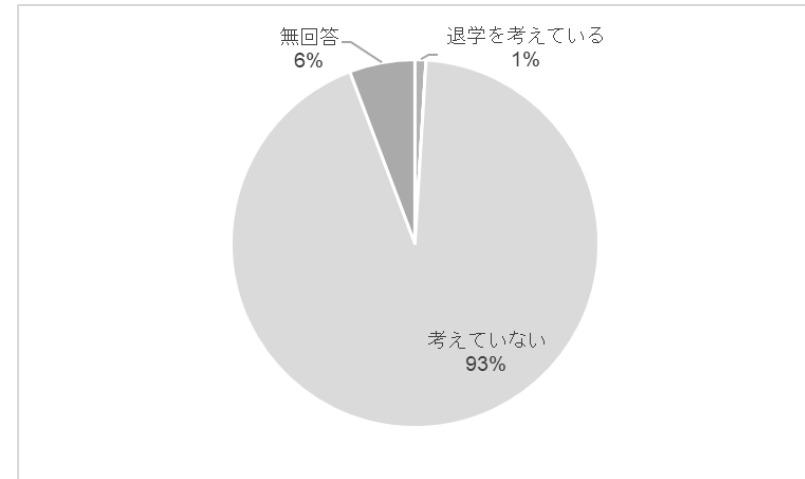
9. 現在不安に感じる事柄について教えてください。(複数回答, N=104)



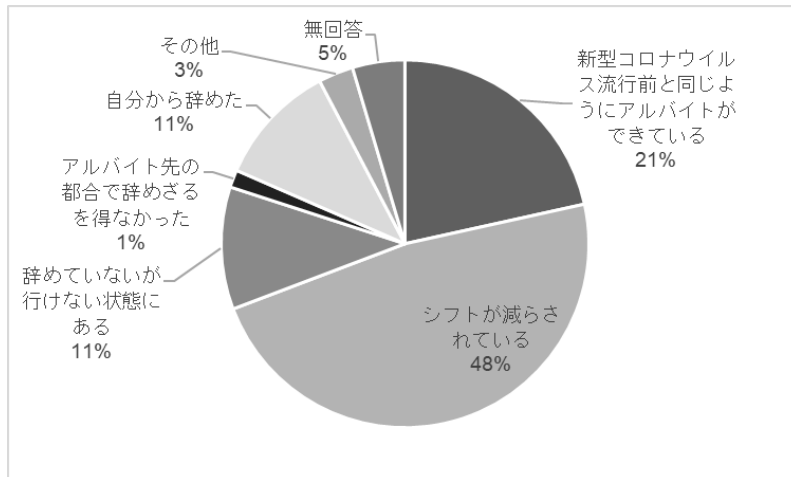
11. 10の質問で「はい」と回答した方にお聞きします。3月～5月までのアルバイトの状況を教えてください。(単数回答, N=65)



12. 現在、大学の休学や退学を考えていますか？(単数回答, N=104)



12. 10の質問で「はい」と回答した方にお聞きします。6月現在のアルバイトの状況を教えてください。(単数回答, N=65)



13. 12の質問で、選択した理由を教えてください。(N=50)

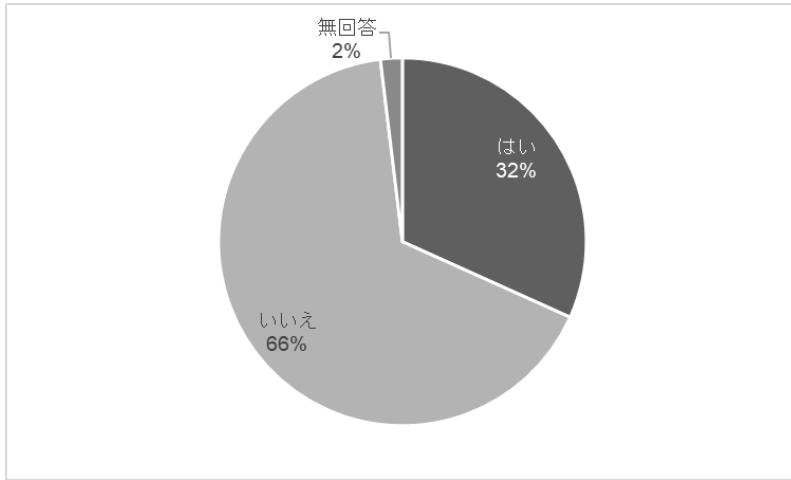
- 困難があっても自分なりに頑張りたいと思います
- 3年で卒業単位の半分以上を取っているため
- 辞める気は無いなら
- もう4年生なので、頑張る！
- 学費を払えなくなる可能性がある
- しっかり卒業したい
- 生活費よりも学費を優先するため休学や退学は視野にない
- この状況下でも勉強はできると感じているため。
- 卒業を希望しているため
- なるべく卒業したいからです
- 将来いいビジネスマンになりたいため、今まで頑張ったことを無駄にし

たくないから卒業まで頑張ります。

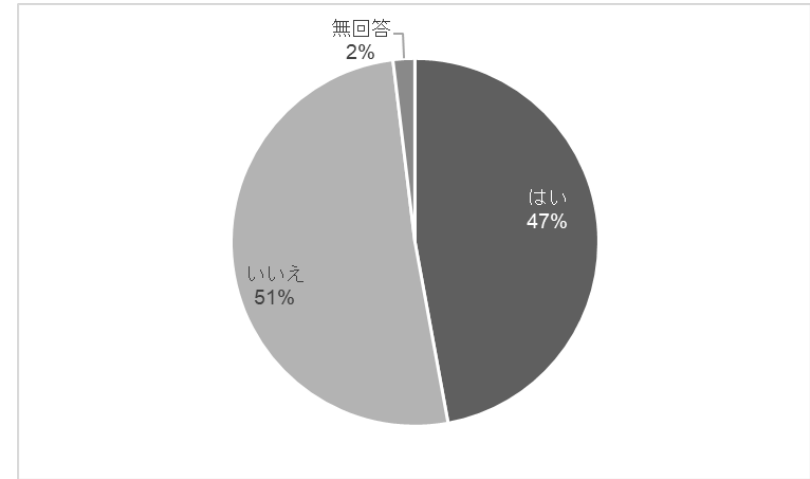
- 特に考えていなかった
- 学費は親が支払っており、4,5月の生活費も奨学金等で賄えたため。
- 特になし
- 奨学金を借りているので、ある程度賄えているから。
- 親の仕送りでなんとかやっていけそうだから
- 授業がないため影響がない
- 大学は予定通りに卒業したいから
- 進学が大切だと思います。
- 自己実現のために大学を卒業したいから。また、学費等に関しては貯蓄等で対応できるから。
- 金銭的にどうなるかわからないため
- 使っていなかった奨学金を学費に当てることができるので、休学は考えていません。
- ない
- 2年制の学校に通っていて、今私は2年生で卒業(国試)まであと1年もない大切な時なので、やめることは考えられないから。
- オンライン授業から、便利です。
- ずっと学び続けたいです。
- 学校の教室に行く必要がなく、ネット上で授業を行いますから、安心しました。
- すべて頑張れ
- 金銭面で不安はあるが、休学や退学を考える程ではなくなったため。
- 卒業するまでの学費はギリギリ払えそうだから

- 止める必要がないから
- 卒業したいため
- どうしても大学を続けたいからです。
- まだ大丈夫だから
- 奨学金を借りているので大丈夫だと思う
- 大学は出ておきたいから
- 就職
- コロナウイルスの影響で家族の給料が減らせる事が起こした
- 考えてない
- まだ経済的にも通える状態だから
- 大学を休学しても解決にならない気がするし、勉強で遅れを取るのを避けたいから。
- 金銭面を何かしらでカバーして大学卒業までは行きたいから。
- する理由がない
- 緊急の奨学金を貰えたため
- 金銭的に厳しい状況だから
- “幸いなことに学費を払えなくなる状況にまでは至っていないので退学は考えていません。
- 休学に関しては、たしかに本来より授業の質などは落ちていると感じますが現時点では休学を考えるほどでは無いと思っています。”
- 親がお金を貯めていてくれたから。
- 学業を続けないと、今後の進路に影響するから
- 大学で学びたいことがあるから
- 現状なんとかやっていけそうだから

11. 栃木県若年者支援機構ではコロナでピンチな若者を応援するため「相談」を受け付けています。利用してみたいですか。(参考:とちぎ若者応援プロジェクト <https://www.tochigi-yso.org/covid-19>) (単数回答, N=104)



12. フードバンクうつのみやでは、常時ボランティアを募集しています。今後フードバンクや学生を応援するボランティアに参加してみたいですか。(参考:フードバンクうつのみや <https://fbu2189.org/>) (単数回答, N=104)



### Ⅲ. 分析結果

#### 1. 利用者実態について

全体の約7割は国公立大学所属であることから、宇大生の利用が多かったと推測される。第1回の配布対象者は宇大生のみだったが実際には他大学の学生も含まれていたことが明らかとなった。また、新規利用者は全体の約7割、その内約6割は国立大学だった。

学年では、1年生の利用者が最も多い。ただし大学院生が5名含まれた。大学院・修士課程12名と合わせると17名の利用となる。

留学生は全体の2割強で、国公立・大学院所属の学生の利用者が比較的多い。

表1. 第1回利用と所属

		専門学校	私立・大学	国公立・大学	私立・大学院	国公立・大学院	合計
1. 第1回学生応援さなセツ	はい	1	3	21	0	9	34
	ト配布会を利用しましたか。	2	19	37	5	7	70
合計		3	22	58	5	16	104

表2. 所属と学年

		1年生	2年生	3年生	4年生	大学院・修士課程	大学院・博士課程	合計
3. 所属を教えてください。	専門学校	2	1	0	0	0	0	3
	私立・大学	8	4	5	5	0	0	22
	国公立・大学	15	14	14	13	1	1	58
	私立・大学院	1	1	1	0	2	0	5
	国公立・大学院	4	0	1	0	9	2	16
合計		30	20	21	18	12	3	104

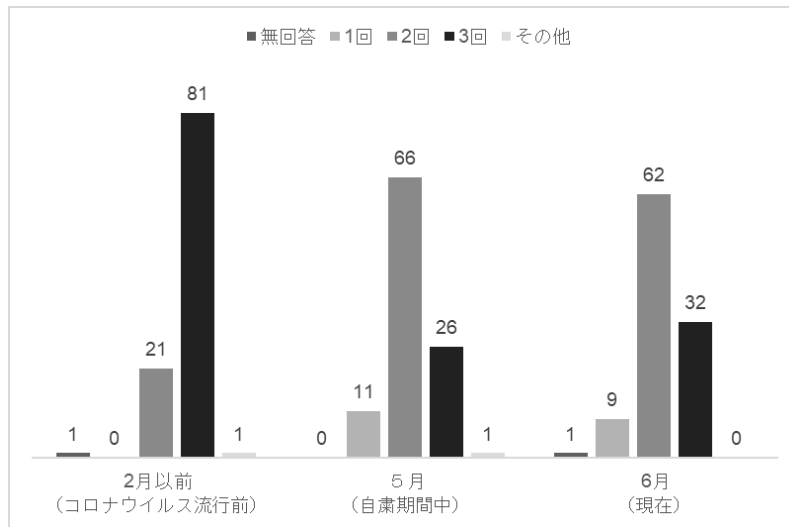
表3. 留学生と所属

		専門学校	私立・大学	国公立・大学	私立・大学院	国公立・大学院	合計
4. あなたは留学生ですか。	はい	1	7	3	3	12	26
	いいえ	2	15	55	2	4	78
合計		3	22	58	5	16	104

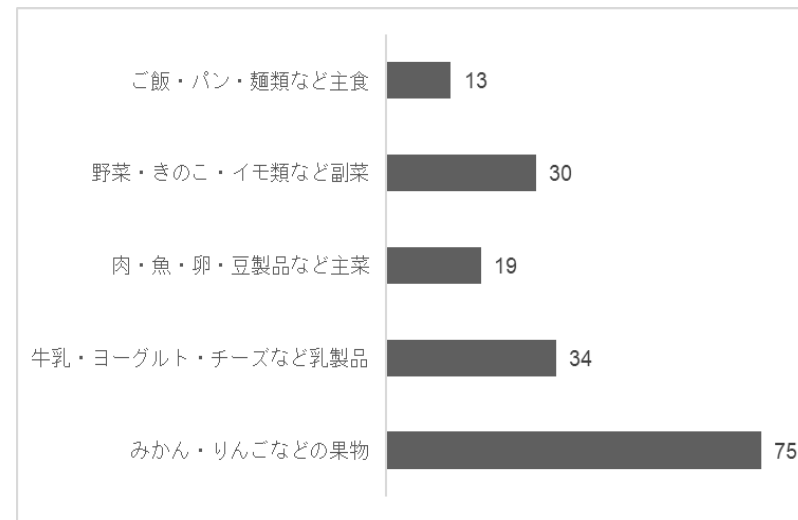
## 2. 食事の状態について：未だ回復していない

回数自体は徐々に戻りつつあるようだが、2月以前の水準にはまだ戻っていない。主食が取れていない者が一定数いる。

アルバイトと食事の回数との関係を5月（自粛期間中）と6月（現在）で比較すると、6月（現在）の状況では統計的有意差は確認されなかったが、“アルバイト状況が悪化し食事回数が2回以下の者”の総数は減っていることが確認された。



【再掲：食事の回数（単数回答, N=104）】



【再掲：食事の内容（複数回答, N=104）】



表4. 3月～5月のアルバイト状況と5月（自粛期間中）の食事回数

(5%水準で有意)

		1回	2回	3回	その他	合計
11. 10の質問で「はい」と回答した方にお聞きします。3月～5月までのアルバイトの状況を教えてください。	非該当（2月以前にアルバイト無）・無回答	2	20	17	1	40
	新型コロナウイルス流行前と同じようにアルバイトができています	0	2	1	0	3
	シフトが減らされている	3	30	3	0	36
	辞めていないが行けない状態にある	2	9	3	0	14
	アルバイト先の都合で辞めざるを得なかった	2	0	2	0	4
	自分から辞めた	2	4	0	0	6
	その他	0	1	0	0	1
合計		11	66	26	1	104

計53

表5. 6月のアルバイト状況と6月（現在）の食事回数（有意差無）

		無回答	1回	2回	3回	合計
12. 10の質問で「はい」と回答した方にお聞きします。6月現在のアルバイトの状況を教えてください。	非該当（2月以前にアルバイト無）・無回答	1	2	21	18	42
	新型コロナウイルス流行前と同じようにアルバイトができています	0	2	11	1	14
	シフトが減らされている	0	2	22	7	31
	辞めていないが行けない状態にある	0	1	2	4	7
	アルバイト先の都合で辞めざるを得なかった	0	0	0	1	1
	自分から辞めた	0	1	5	1	7
	その他	0	1	1	0	2
合計		1	9	62	32	104

計35

### 3. 不安感について：生活費に対する不安の高まり

アルバイトを自分から辞めた者と不安感の関係では、「自分自身の健康」や「家族など身近な人の健康」との関係は確認されなかった。

学年との関係では、就職、家賃、友人関係の3項目で有意差が確認された。就職に対する不安は3, 4年生、家賃と友人関係に対する不安は1年生で比較的高い傾向がある。

全体の約6割強の学生が生活費に対する不安を示した。生活費と学年との関係に有意差は確認されなかったが、所属との関連が確認された。特に私立の学生の生活費に対する不安感が高い傾向にある。

また、6月現在のアルバイト状況からは、2月以前（コロナウイルス流行前）からアルバイトを行っていなかった者の不安が比較的高い。

表6. 就職に対する不安と学年（5%水準で有意）

		1年生	2年生	3年生	4年生	大学院・ 修士課程	大学院・ 博士課程	合計
就職	不安無	21	9	6	7	8	2	53
	不安有	9	11	15	11	4	1	51
合計		30	20	21	18	12	3	104

表7. 家賃に対する不安と学年（5%水準で有意）

		1年生	2年生	3年生	4年生	大学院・ 修士課程	大学院・ 博士課程	合計
家賃	不安無	13	15	18	13	8	2	69
	不安有	17	5	3	5	4	1	35
合計		30	20	21	18	12	3	104

表8. 友人関係に対する不安と学年（5%水準で有意）

		1年生	2年生	3年生	4年生	大学院・ 修士課程	大学院・ 博士課程	合計
友人関係	不安無	19	19	16	17	11	3	85
	不安有	11	1	5	1	1	0	19
合計		30	20	21	18	12	3	104

表9. 生活費に対する不安と所属（5%水準で有意）

		専門学校	私立・大学	国公立・大学	私立・大学院	国公立・大学院	合計
生活費	不安無	2	11	21	0	1	35
	不安有	1	11	37	5	15	69
合計		3	22	58	5	16	104

表10. 家賃に対する不安と6月現在のアルバイト状況（5%水準で有意）

		非該当（2月以前に アルバイト無）	新型コロナウイルス 流行前と同じよ うにアルバイトが できている	シフトが減らされ ている	辞めていないが行 けない状態にある	アルバイト先の都 合で辞めざるを得 なかった	自分から辞めた	その他	合計
家賃	不安無	22	12	22	4	0	7	2	69
	不安有	20	2	9	3	1	0	0	35
合計		42	14	31	7	1	7	2	104

#### 4. 1年生の状況について

新型コロナウイルス流行前（2月以前）にアルバイトをしていなかった学生39名の内、25名が1年生（大学院生5名含む）で、さらに生活費に不安がある学生27名の内18名（6割強）の学生が1年生である。1年生は、アルバイトを始めていないなかで、困窮状態に陥っている可能性がある。

表11. 新型コロナウイルス流行前（2月以前）のアルバイト状況と学年（1%水準で有意）

		1年生	2年生	3年生	4年生	大学院・修士課程	大学院・博士課程	合計
10. 新型コロナウイルス流行	はい	5	17	17	16	7	3	65
前（2月以前）、アルバイトを	いいえ	25	3	4	2	5	0	39
していましたか？								
合計		30	20	21	18	12	3	104

表12. 新型コロナウイルス流行前（2月以前）のアルバイト状況と学年と生活費に対する不安

5. 学年を教えてください。			2月以前のアルバイト有（Q10「はい」）	2月以前のアルバイト無（Q10「いいえ」）	合計
1年生	生活費	不安無	1	7	8
		不安有	4	18	22
	合計		5	25	30
2年生	生活費	不安無	6	1	7
		不安有	11	2	13
	合計		17	3	20
3年生	生活費	不安無	8	2	10
		不安有	9	2	11
	合計		17	4	21
4年生	生活費	不安無	7	1	8
		不安有	9	1	10
	合計		16	2	18
大学院・修士課程	生活費	不安無	0	1	1
		不安有	7	4	11
	合計		7	5	12
大学院・博士課程	生活費	不安無	1		1
		不安有	2		2
	合計		3		3
合計	生活費	不安無	23	12	35
		不安有	42	27	69
	合計		65	39	104